

ふれあい 雪谷

平成12年
新年号



東中 原みどりさんの作品

自治会 紹介 ⑧ [笹丸は小粒でも]



笹丸自治会は東西に長く、中原街道をはさんで北側の南千束地区と南側の東雪谷地区とからなり、この地域で最も小さいまとまりのよい、古い歴史を持っている自治会（町会）であります。定かではありませんが、笹丸の地名は江戸時代からあり、峠に笹が生い茂っていたのに由来するようです。

戦前は、中原街道の急坂を洗足池から登ってくると、途中に大きな茅葺きの家があり、登り切ると道の両側に商店や飲食店が並んでいました。その背後に庭付きの住宅があるという町並みでした。戦災と道路拡幅さらには住宅の立て替えなどで、町の様子はすっかり変わってしまいました。

現在の自治会の日常業務は、役員会と組とが連絡を取り合っています。組は26組あり、同一番地の会員でつくり、組長は任期1年です。役員会は正副会長のほか、防火防犯、交通安全対策、婦人、青少年対策、環境美化、福祉の7部の正副部長で構成されています。月1回の定例会と大きな行事のときに開く臨時会があり、情報交換、事務連絡、行事の実施方法の検討などを行っています。

主な年間行事は、春秋の交通安全運動・バスハイク・秋祭り・防災訓練・歳末夜警パトロール・新年餅つき大会・町内一斉美化行動などがあります。いずれの行事にも数十名から百名を越す参加者があります。前回の防災訓練では、小さな仮設小屋に火を放って市民消防隊がこれを消して見せるというパフォーマンスをしました。お祭りでは中原街道に面して神酒所が置かれ、道の両側にずらっと飾り提灯が下がり、なかなかの風情を見せます。

今後の課題は、文化活動の充実と自治会の開かれた運営をめざして、情報活動の一層の充実です。

(笹丸 森下輝夫)

◆編集後記

地域の皆様や事務局に支えられながら、十年目となる新年号を発行することができました。改めてお礼申しあげます。
本年も編集委員一同、「地域による、地域のための情報紙作り」を念頭に取組んでまいりたいと思います。皆様からの、一層のご支援をお願いいたします。

昨年も長引く不況に加え、内外ともに事件、事故が多発しました。この世紀末的世相を教訓として生かした、平穏な二十一世紀を迎えたいものです。

(石川台 三浦悦次)

〔発行〕 わがまち大田雪谷地区推進委員会
〔編集〕 ふれあい雪谷編集委員会
連絡先 雪谷特別出張所内
大田区東雪谷四一三一二三
電話 三七二九一五一七
〔発行日〕 平成十二年一月一日
通巻第三十七号

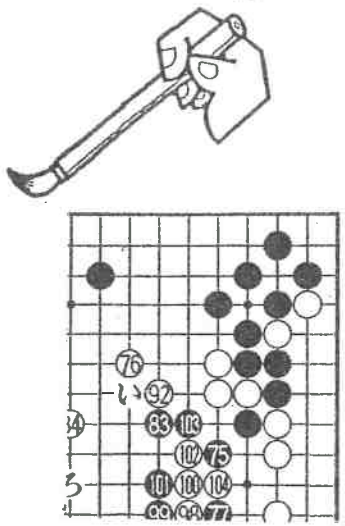


サークル紹介 ⑧ 書道

東雪谷東中自治会「はまなす会」で書道を毎月二回（第二、第四水曜日、午後七時から九時）東雪谷会館で行っています。

老若男女、子どもさんも含めて、現在十名位で練習しています。昼間仕事をしている方でも夜であれば、ゆっくりお稽古できるので、皆さん頑張っています。大変良い先生に恵まれ楽しく和気藹々のひと時を過します。

新年には、日頃の練習で上達した力作を会館に展示して、住



民の方々に披露しています。最近ワイプロやコンピュータ等が私達の身の回りに多くなりました。筆を持つ機会の少ない若い方々にも是非お勧めしたいと思います。一度見学にお出掛けください。お待ちしております。

(東中 小林)

私の健康法 ③

八十路も半ばになるが、未だに現役で毎日駆け巡っている。健康に恵まれているからで感謝をしながら励んでいる。

よく特別な健康法をおやりですか、と聞かれるが何もやっていない。ただ還暦を過ぎた頃煙草を止め、酒等を控え目にした位であとは日常の生活習慣にならるが、その辺が健康上よかった様に思われる。

起床は六時、朝食前に幼稚園で筆を持って一時間と、観察用の花や野菜の管理、食後改めて出勤、軽い事務処理と野暮用といわれる地域関係の処理などを行っている。次は農協へ出勤

し、区や農協また幼稚園関係等の会議があれば出席。定刻に帰宅出来れば幼稚園での仕事は深更に至る事もしばしばである。

休日には、付き合い等がなければ、園の遅れた事務整理、花の栽培、自宅の庭掃除、私に休日はないが、これが健康の元になっているようだ。

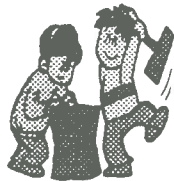
(上池上 岡田豊雄)

今年の抱負

【12歳】

数カ月たらずで中学生になるなんて、あっという間でした。

6年の運動会のリレーで初めて1位をとれたし、組体操もうまく出来ていい思い出でした。これから中学生になったらもっといっぱい友達を作って、小学校で習った事を生かしてがんばりたいと思います。
(東中 原小百合)



【24歳】

高校を卒業して三年間、今まで進んで来た道以外で自分の能力を見つめ直すために家を出てフリーターとして自活した。

しかし結局元の道に戻り、二十一年で大学に入り現在機械工学部の三年、大学院に進む事を考えている。自分に合っている道だと思う。

遅れを完全には取り戻してはいないが、それを補って余りある経験をしたと思っている。だから今は前に進む事だけを考えていきたい。

(東雪 A・S)



【36歳】

私は、神社・仏閣の彫刻を手掛けています。

新年を迎えるにあたって、まずは力強く天に昇る今年の干支である龍を、自分なりの個性を出して彫ろうと考えています。そして龍の入ったことわざに“龍の雲を得る如し”があります。私も色々な人と出会い、機会を得て努力し、活躍していきたいと思っています。

(希望ヶ丘 塚原正年)

今年はたつ年。ということで、雪谷地区に住む年男、年女の方々に「今年の抱負」取材してみました。

【48歳】

年男・独立して15年・新世紀を迎える年。3拍子揃い、これを節目として今までを反省しつつ、まさに龍のように、昇ることができればと思っています。

(小池 T・H)



【60歳】

幼児期に終戦を迎え、青年期は日本経済の上昇もあって、ただ忙しく、懸命に働いた。

子供もそれぞれに独立した今、気が付けば還暦を迎えてしまった、と言うのが実感です。

今年は記念すべき2000年。先ず健康を第一とし、充実した一年にしたいものです。

(石川台 小野沢秋典)



【72歳】

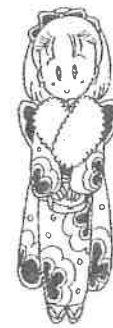
天災は忘れたころにやって来る備えあれば憂いなしの言葉通り防災について一層の努力が必要だと思います。

4月より介護保険が施行されますが、自分自身が健康で快適な生活を送る様努力したいと思っています。

(南雪谷 桜井ゆうき)

成人式を迎えて

1月10日は成人式です。大田区では7,883人が大人の仲間入りをします。雪谷地区で成人式を迎える2人の方に希望を書いていただきました。



“成人式を迎えた”といっても大学に通う私には、目に見える様な大きな変化はまだありません。

今私が一番不安に思う事は、リストラなどが多く見られるこの不景気な世の中で、大学を卒業した後に無事に就職できるのかという事です。この就職難はいつまで続くのか分かりませんが、今の私には自信を持ってアピールする様な事はありません。そのため大学在学中に何か資格を取ったり、社会に出て役立つ様なことを身に付けたいと思っています。

20歳になるまでは何か問題が起きても両親に頼ることができましたが、これからは自分で責任を持つことになります。今まで自分の好きな事だけをしてきましたが、20歳という年齢を良くいきりめとして自覚を持ちたいと思います。そして様々な場面でこれまでの経験や学んできた事を活用し、これからもたくさんの事を学び続け、自分の目標に向かって頑張りたいと思います。

(南雪谷 滝田恵里)



自分は将来、何をやりたいのだろう。宇宙飛行士、小学生の時の作文にこう書いた気がする。でも、夢の夢と知った。

中学生になると現実的になり、将来への具体的な展望を抱かないまま、楽しく学校生活を送って来た。

自分はまだ親の援助のもとで充実した大学生活を送っているが、友人との会話も将来についての話題が増えてきた。答えはまだはっきりと出していないが、成人を機に将来についてもっと考えていきたいと思っている。

(上池上 H・E)

自治会リレー随筆

新たな千年紀に向かって



あけましておめでとうございます。2000年を迎え、21世紀への新たなスタート地点と捉えて考えてみました。

私達は新しい千年紀(第3ミレニウム)へ移りかわる時を生きています。千年前の日本は藤原氏の摂関時代でした。お隣りの中国は北宋、欧州は神聖ローマ帝国の時代でした。

そして、まもなく終わろうとしている千年紀は科学の発達によって大きく激しく変化してきました。その変化と影響は人間ばかりでなく、小さな動物達にも大きく及んでいます。

庭で蟻が沢山発生したので、殺虫剤を使ったところ、確かに蟻はいなくなりました。ところが他の小さな虫たちの姿までなくなり、せまい庭では影響が大きすぎたのでしょうか。気がついてみたら蚊も蠅も殆んどいなくなりました。

朝、小鳥や雀のさえずりで目が覚めなくなったのはいつ頃からでしょうか。窓をあけても2~3羽の鳴き声、一度に飛び上る数も数羽位です。他の鳥達や動物達の生態系に影響を与えているのは、科学の進歩で恩恵を受けている人間かと思っていました。しかし、その人間も大きな影響を受けているのがわかってきたのです。これでは全く悪循環です。

今盛んにいわれている、人にも地球にもやさしい環境を目指して、物質文明の発達に頼り過ぎた社会を、自然と共存しながら、人間らしく手をつないで新しい千年紀を作っていきたいものです。

(小池 斉藤みさ子)

俳句 短歌

ほろ酔いて春の海聴く琴始

(東中 菅野哲男)

しみじみと母似となりし初鏡

(上池上 服部あさえ)

初詣アクアラインに富士拝す

(上池上 中島勇)

庭のない家を買われた山茶花は
路地におかれて律儀に花さく

(東雪 片野三郎)

夕暮れの「我が家の灯」の思い出よ

皆健やかに在りし姿の
(小池 須藤)

